

総合型地域スポーツクラブのSNS利用に関する研究 A study of using SNS of Comprehensive community sports club

1K08B056-6

加藤 翼

指導教員 主査 中村 好男 先生

副査 太田 章 先生

【背景】

近年、FacebookやTwitterに代表されるSocial Networking Service（以下、SNS）が、企業の広報や消費者との交流などに使われる事が多くなっている。

その流れは、非営利組織も例外ではなく、SNSが総合型地域スポーツクラブの広報や会員同士の交流に使用されることも多い。

地域の中で、総合型地域スポーツクラブ（以下、総合型クラブ）に期待されている役割は「総合型地域スポーツクラブの育成は、スポーツ振興のみならず、社会環境が変化する中で、地域における住民意識や連帯感の高揚、世代間の交流、高齢社会への対応、地域住民の健康・体力の保持増進、地域の教育力の回復、学校運動部活動と地域との連携など、21世紀における新たな地域社会の形成にも寄与することが期待できる。」（文部科学省HP，2012）である。

そしてSNSは、その定義として「人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のWebサイト。友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり、趣味や嗜好、居住地域、出身校、あるいは『友人の友人』といったつながりを通じて新たな人間関係を構築する場を提供する、会員制のサービスのこと。人のつながりを重視して『既存の参加者からの招待がないと参加できない』というシステムになっているサービスが多いが、最近では誰も自由に登録できるサービスも増えている。」（IT用語辞典，2012）とある。

したがって、総合型クラブとSNSは、スポーツとネットワークという手段・方法の違いはあるが、人と人との繋がりを促進し、コミュニティ形成を期待できるという点で同様の性質を持っていると言える。

【目的】

各クラブはSNSを利用するにあたって、自分たちのクラブの活動をより多くの人に知ってもらおうと同時に、総合型地域スポーツクラブで形成された人間関係やコミュニティをSNSで補強する、または、SNSでできたコミュニティで総合型地域スポーツクラブに参加するといったことが期待しているだろう。

そこで本研究では、総合型地域スポーツクラブのSNS利用実態について調査し、そこからどのような利用形態がとられているかを分析し、総合型地域スポーツクラブのSNS利用について明らかにしていきたい。各クラブのSNS利用状況・広報をまとめ、分類し、示すことで、今後の総合型地域

スポーツクラブのSNS利用方法を検討するための一つの指針とする目的がある。

【方法】

検索で『Facebook 総合型地域スポーツクラブ』というワードで検索を行い、9クラブのSNS(Facebook)利用状況をまとめ、内容、手段について考察していく。具体的には、『クラブ紹介』『直近5回の更新内容』『いいね！数』をまとめ、表を作成し、各クラブの特徴を挙げた上で、分析を行う。

【結果・考察】

表をまとめ、各クラブの特徴を挙げていき考察した結果、次のようなことがわかった。総合型クラブのSNS利用には、『文字数が限られている中で、クラブ紹介の項目の取捨選択を行わなければならない。その中でそのクラブの姿勢自体が顕在化すること』『内容により、クラブページの利用目的が分かれること。そしてその内容とは基本データに加えて、更新内容の＜イベント・教室の告知＞＜クラブ広報＞＜写真付き＞＜日常についての更新＞＜新規教室情報＞＜教室日程＞＜日程の変更＞であること』『SNS利用により、クラブと人、クラブとクラブのつながりが生まれていること』である。

本研究では、利用状況をまとめるという目的で行ったため、適切な使用法、目的別の用法、効果測定、インタビューなどは行わなかった。使用法について言及したいのであれば、SNSを利用している総合型クラブの会員、クラブ職員、一般の人に調査を行い、クラブのFacebookページの作成、交流、認知など一環した流れの中で質問すべきであり、また効果を測定する有効な指標を用いるべきだった。

ともあれ、これからSNSが総合型クラブによって多く利用され、それにより、多くの人がスポーツを楽しめ、地域コミュニティを形成し、QOL（Quality of life）が向上するよう願っている。